

特集

新カリキュラム3年目、
これからの地域・在宅看護論を考える【対談】「地域・在宅看護」を科目としてではなく、
看護の基本として捉える 佐藤直子、水方智子

「暮らし」を伝える授業で教員に求められる視点 富安恵子

教員も学生視点から「家族」を考える
——家族看護を難しく考えていませんか？ 櫻井大輔患者の希望を支えるために地域に働きかける看護師とチーム
渡邊和子

広がる精神科訪問看護——基礎教育に伝えたいメッセージ 崔明玉

医療的ケア児への関わり
——社会・医療の変化で知っておきたいこと、できること 荒牧順子『地域と学校が共に作る連携教育展開の手引き』制作を通じ
抱いた地域・在宅看護論の今とこれから 恒崎康子

【コラム】地域に出て気づいたピットフォールとそれをどう乗り越えた

巻頭インタビュー

今、気になる本の著者！ 今井むつみ さん

特別記事

性別の枠を超えて——「私」を生きる私の声 永瀬大紀

連載

看護教育とお金の未来を考える①……………ウィリアムソン彰子、坪田康佑、高山真由子

“シャイ”が気になる人へ！すれ違わないためのパーソナリティ心理学①…稲垣 勉

実録！看護学生のスベらない話①……………高橋聖子

偏見・差別を科学する②……………木村映里

変わる！変える！医療安全教育④……………嶽肩美和子、中村加奈子

臨床で本当に必要な薬のおはなし ⑬ 尿路感染症の病態と治療……………大井一弥

※予定であり変更の可能性があります。

編集後記

まだ実習以外臨床に出ていない看護学生にとって、「看護師のように考える」ことがいかに難しいことか、この特集を進める中であらためて実感しました。しかしその中で、看護師の思考を抽象化し言語化したタナーの臨床判断モデルは、学生が学ぶ机上の知識と臨床での思考をつなげる上で、1つの大きな架橋であるように感じています。看護基礎教育の段階で、学生が「看護師のように考える」ための“習慣や土台”を築くことは十分にでき得るのではないかと、今回さまざまなご実践をご紹介する中でそう大きな期待を抱くと共に、臨床判断能力の育成にご尽力される全国の看護教員のみなさまに、心から敬意を表します。（福村）

近所の子どもが喜ぶかなと思い、ビオトープを始めました。ビオトープとはbio（命）+ topos（場所）というギリシア語の造語で、適当な鉢に水草と土を入れ、メダカやエビを屋外で飼育し、あまり手を加えない自然環境をつくって楽しむことが多いようです。生物がただ生きる姿を見ていて、（人間のエゴだとは承知しつつ）心が少し洗われるような気がします。驚いたことに、お隣の小学生2年生の子が「このメダカやエビは餌をあげなくても大丈夫なんですよ」と言ってきました。生態系におけるプランクトン、バクテリアの存在と役割を知っていたのです……子どもの好奇心の底知れなさはずいごいですね。興味が発揮するパワーについては、先生方も十分に承知のことと拝察します。今後の特集などで、こういった切り口で掘り下げることができるかなと思案中しています。（坂元）

看護教育 第65巻6号（通巻769号）

2024年12月25日発行（年6回発行）

発行：株式会社医学書院

代表者：金原 俊

〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23

販売・PR部 TEL：03-3817-5654

『看護教育』編集室 TEL：03-3817-5776

メールアドレス：kankyou@igaku-shoin.co.jp

担当：福村・坂元・番匠

Published by IGAKU-SHOIN Ltd.

1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo

©2024, Printed in Japan

印刷：株式会社双文社印刷

1部定価 2,860円（本体2,600円＋税10%）

2024年年間購読料（送料弊社負担、年6冊）

冊子版、電子版／個人：16,500円

（本体15,000円＋税10%）

電子＋冊子版／個人：18,150円

（本体16,500円＋税10%）

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権（送信可能化権を含む）は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為（複写、スキャン、デジタルデータ化など）は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的（診療、研究活動を含む）で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY

〈出版者著作権管理機構委託出版物〉

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構（TEL：03-5244-5088、FAX：03-5244-5089、info@jcopy.or.jp）の承諾を得てください。

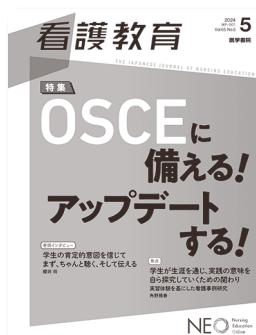
「看護教育」は株式会社医学書院の登録商標です。

BACK NUMBER

バックナンバーのご案内

2024年5号

特集 OSCEに備える！アップデートする！

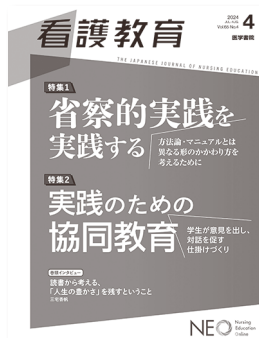


OSCE（客観的臨床能力試験）は、学生の臨床能力を公平に評価するための試験で、特に医学・歯学教育で公的試験として導入されています。しかし、看護教育では評価の難しさや実施条件の制約から、まだ全面的には普及していません。本特集では、OSCEを先進的に運用している養成所の事例や他領域の動向を紹介し、教育者が目指すべき評価の在り方や、OSCEの新たな可能性を考えるきっかけを提供します。

2024年4号

特集1 省察的実践を实践する

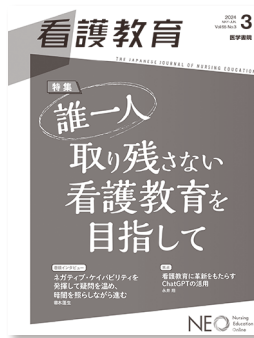
特集2 実践のための協同教育



特集1は書籍『わかりやすい省察的実践—実践・学び・研究をつなぐために』の実践編。「省察的実践」は実践を繰り返して、それを螺旋的に省察していくことで深めることができます。特集2は協同教育について。実践例や基本技法の他、協同教育を効果あるものとするための仕組み、仕掛けについても紹介します。

2024年3号

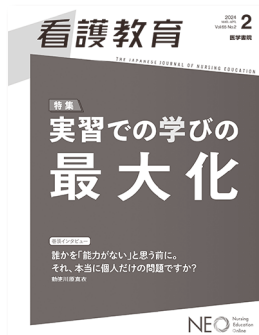
特集 誰一人取り残さない看護教育を目指して



2024年4月より、障害のある方への合理的配慮の提供が義務化されました。教育機関の役割と行動を考える上で道しるべとなるような取り組みを紹介し、授業方法のさらなる改善につながるヒントを提供します。学生の悩みや訴えを少しでも受け入れ、学生と教員が共に学び合える学習環境について考えます。

2024年2号

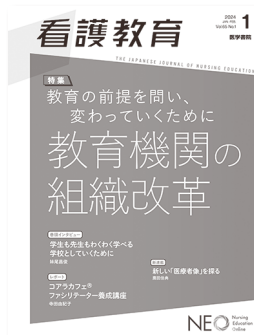
特集 実習での学びの最大化



基礎教育を臨床にうまくつなぐために必須な臨床実習。教員にとって、その学びの機会を学生にどう提供するか、また、どうやって効果的なものにするか、試行錯誤の日々です。実習で個々の学生が体験・実践できることを少しでも積み重ねるための工夫・ヒントをお届けします。

2024年1号

特集 教育の前提を問い、変わっていくために 教育機関の組織改革



医療構造、人口動態などの社会変化により、看護教育機関には地域や学校の特性を反映した教育が求められます。この実現に向け、教育機関・教員が自律的に教育の在り方を捉え直し、組織をつくっていかねばなりません。本特集では、その道筋や教員が発揮すべきリーダーシップをご紹介します。

バックナンバーご購入 & 年間購読お申し込み方法

- ・最寄りの書店 & 生協にてご注文
- ・ホームページ <https://www.igaku-shoin.co.jp/journal-subscription>
- ・お電話にて TEL：03-3817-5650（医学書院 販売・PR 部）

○ 2022年8月号（Vol. 63 No. 8）以前の号についてのご注文や在庫の照会
は下記へお問い合わせください。
株式会社東亜ブック TEL：03-5947-4781 FAX：03-3923-4539
<http://www.toabook.com>